



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年10月30日

上場会社名 丸八証券株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8700 URL https://www.maruhachi-sec.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 里野 泰則
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 マネジメント本部長 (氏名) 津坂 聡 TEL 052-307-0850
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日—
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,225	△15.3	1,214	△15.6	57	△78.8	95	△65.9	75	△66.3
2019年3月期第2四半期	1,446	14.6	1,438	14.4	273	148.9	278	144.4	223	113.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	18.85	—
2019年3月期第2四半期	55.96	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	自己資本規制比率
	百万円	百万円	%	円 銭	%
2020年3月期第2四半期	8,733	6,862	78.6	1,719.33	568.5
2019年3月期	8,722	7,064	81.0	1,769.94	828.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 6,862百万円 2019年3月期 7,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 記念配当 10円00銭
 2. 金融商品取引業は、業績を適正に予想することが困難なため、配当予想額は未定としております。

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

金融商品取引業は、経済情勢や市場環境の変動による影響を大きく受ける状況にあり、業績を適正に予想し、開示することは極めて困難であります。そのような状況において業績予想を開示することは投資家等に誤認を与えるおそれがあるため、当社は業績予想を開示しておりません。それに代えて、四半期および通期の業績速報値を決算数値が確定したと考えられる時点で速やかに開示しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	4,042,970株	2019年3月期	4,042,970株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	51,791株	2019年3月期	51,791株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	3,991,179株	2019年3月期2Q	3,991,198株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、「3. 2020年3月期の業績予想」に記載のとおり、業績予想の開示を行っておらず、配当予想につきましても開示を行っておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. 補足情報	7
2020年3月期 第2四半期決算資料	7
(1) 受入手数料	7
(2) トレーディング損益	8
(3) 自己資本規制比率	8
四半期損益計算書の推移表	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)における日本経済は、米中間の貿易摩擦問題、英国の欧州連合離脱問題、日韓関係の悪化問題など主に海外要因の影響から輸出不振や投資意欲の減退等の不安があるものの、引き続き良好な雇用環境のもと景気は緩やかに回復しております。

このような経済環境の中、当第2四半期の国内株式市場では、日経平均株価は21,500円でスタートし、中国の景気減速に底打ちの兆しが見られたことや米国企業の好調な1-3月期決算を背景に概ね堅調な推移となりました。加えて足かせ要因の1つでもある英国の欧州連合(EU)からの離脱問題が再延長となり、合意なき離脱がひとまず回避されたことをうけ、4月24日には22,362円の高値まで上昇する場面もありました。

その後は、トランプ大統領による対中関税引上げ拡大やメキシコに対する関税引上げ表明など、貿易摩擦激化への懸念を背景に軟調な推移を示し、6月初旬には20,000円台前半まで下落しましたが、米連邦準備制度理事会(FRB)による利下げ期待や米中首脳会談開催による通商協議の進展期待が高まり、日経平均株価は再び上昇傾向を強めていきました。

8月に入ると米中双方が追加関税引き上げを表明し合うなど米中対立が一段と激しさを増したことから、リスク回避志向が再び高まり、加えて円高の進行もあり、日経平均株価は下落基調を強めました。しかし、20,000円を割り込む水準が視野に入ると、割安感から下げ止まりの動きが強まり、更に、米中閣僚会議が10月上旬に再開される見通しとなったことや、10月1日発動予定の対中関税引き上げを延期したことが好感された事により、米国株の上昇に歩調を合わせる形で日経平均株価は再び上昇傾向を強め、21,755円で当第2四半期を終えております。

このような状況のもと、当社はおお客様の利益の最大化と堅実な資産形成を最重要事項と位置付け、役職員の資質向上に努めるとともに、地域に密着したお客様本位の営業を展開いたしました。具体的には、中長期で成長の見込まれるAI・IoTなどの第4次産業革命関連、宇宙開発関連を中心に米国株式、国内株式および投資信託の提案営業を継続的に推進するとともに、新興国および米国の外貨建債券の販売に取り組みました。

また、お客様の資産運用・財産形成に役立てていただくため、本支店にて投資セミナーを開催し、お客様への情報提供に努め、8月8日には「設立75周年記念特別講演」を開催いたしました。

以上の結果、当第2四半期の業績の概要は次のとおりとなりました。

①純営業収益

・受入手数料

株式売買高が減少したため、株式の委託手数料は2億49百万円(前年同期比13.3%減)となり、債券および受益証券を含めた委託手数料の合計は2億61百万円(同12.7%減)となりました。

募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料は、外貨建債券の販売手数料が増加したことにより2億15百万円(同2.5%増)となりました。

また、その他の受入手数料は、投資信託の信託報酬の減少などにより65百万円(同38.7%減)となり、受入手数料は全体で5億42百万円(同12.0%減)となりました。

・トレーディング損益

株券等トレーディング損益は外国株式の店頭取引による収益が減少したことなどにより2億54百万円の利益(同36.5%減)となり、トレーディング損益は全体で6億45百万円の利益(同18.4%減)となりました。

・金融収支

金融収益は信用取引貸付金の期中平均残高が減少し受取利息が減少したことなどにより36百万円(同2.7%減)となりました。一方、金融費用は11百万円(同32.5%増)となり、金融収支は25百万円(同12.6%減)となりました。

以上の結果、当第2四半期の純営業収益は12億14百万円(同15.6%減)となりました。

②販売費・一般管理費

人件費が16百万円増加し6億92百万円(同2.5%増)となりましたが、事務費が17百万円減少し1億95百万円(同8.2%減)、不動産費が9百万円減少し92百万円(同8.9%減)となったことなどにより、販売費・一般管理費は8百万円減少し11億56百万円(同0.7%減)となりました。

③営業外損益および特別損益

営業外収益として投資有価証券売却益および受取配当金などにより37百万円を計上いたしました。

特別利益として、名証取引参加者協会の清算に伴う残余財産分配金の受取などにより18百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第2四半期の経常利益は95百万円(同65.9%減)、四半期純利益は75百万円(同66.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期末の資産合計は、2019年3月末(以下、前期末)に比べ10百万円増加し87億33百万円となりました。その主な要因は、現金・預金が17億49百万円、信用取引資産が1億80百万円それぞれ減少したものの、投資有価証券が15億22百万円、未収入金が4億57百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

②負債

当第2四半期末の負債合計は、前期末と比べ2億12百万円増加し18億71百万円となりました。その主な要因は、受入保証金が49百万円、未払費用が43百万円それぞれ減少したものの、預り金が2億17百万円、信用取引負債が1億14百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

③純資産

当第2四半期末の純資産合計は、前期末と比べ2億1百万円減少し68億62百万円となりました。その主な要因は、四半期純利益75百万円を計上したものの、配当金1億99百万円を支払い、その他有価証券評価差額金が77百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

金融商品取引業は、経済情勢や市場環境の変動による影響を大きく受ける状況にあり、業績を適正に予想し、開示することは極めて困難であります。そのような状況において業績予想を開示することは投資家等に誤認を与えるおそれがあるため、当社は業績予想を開示しておりません。それに代えて、四半期および通期の業績速報値を決算数値が確定したと考えられる時点で速やかに開示しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	4,498,244	2,748,500
預託金	736,689	784,575
顧客分別金信託	723,071	784,575
その他の預託金	13,618	—
トレーディング商品	70,362	28,157
商品有価証券等	70,362	28,157
約定見返勘定	230,595	217,585
信用取引資産	1,996,612	1,816,200
信用取引貸付金	1,915,184	1,738,744
信用取引借証券担保金	81,427	77,456
立替金	21	230
顧客への立替金	—	230
その他の立替金	21	—
短期差入保証金	170,000	170,000
前払費用	30,835	25,007
未収入金	22,563	479,654
未収収益	93,315	75,792
その他の流動資産	674	1,796
貸倒引当金	△129	—
流動資産計	7,849,784	6,347,500
固定資産		
有形固定資産	98,646	96,022
建物	51,960	51,541
器具備品	33,221	31,016
土地	13,464	13,464
無形固定資産	725	695
電話加入権	666	666
ソフトウェア	59	29
投資その他の資産	773,471	2,289,133
投資有価証券	461,492	1,983,834
関係会社株式	2,000	2,000
出資金	1,520	1,520
従業員に対する長期貸付金	3,747	2,985
長期差入保証金	228,515	228,062
長期前払費用	1,308	592
繰延税金資産	42,152	38,603
長期立替金	74,017	74,017
その他	50,735	49,535
貸倒引当金	△92,018	△92,017
固定資産計	872,842	2,385,851
資産合計	8,722,627	8,733,351

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
信用取引負債	425,262	539,809
信用取引借入金	341,326	455,261
信用取引貸証券受入金	83,936	84,547
預り金	757,019	974,460
顧客からの預り金	528,955	486,653
その他の預り金	228,063	487,807
受入保証金	168,017	118,799
未払金	9,474	9,964
未払費用	133,889	89,940
未払法人税等	68,391	49,354
賞与引当金	77,200	69,600
流動負債計	1,639,254	1,851,928
固定負債		
資産除去債務	6,331	6,362
その他の固定負債	1,000	1,000
固定負債計	7,331	7,362
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	11,905	11,905
特別法上の準備金計	11,905	11,905
負債合計	1,658,491	1,871,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,751,856	3,751,856
資本剰余金	336,225	336,225
利益剰余金	3,139,660	3,015,342
自己株式	△113,656	△113,656
株主資本合計	7,114,085	6,989,767
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△49,950	△127,612
評価・換算差額等合計	△49,950	△127,612
純資産合計	7,064,135	6,862,155
負債・純資産合計	8,722,627	8,733,351

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業収益		
受入手数料	616,909	542,880
委託手数料	299,871	261,699
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	210,594	215,882
その他の受入手数料	106,443	65,298
トレーディング損益	791,959	645,953
金融収益	37,835	36,826
営業収益計	1,446,704	1,225,660
金融費用	8,326	11,031
純営業収益	1,438,378	1,214,629
販売費・一般管理費	1,165,340	1,156,863
取引関係費	116,461	116,530
人件費	675,379	692,003
不動産関係費	102,019	92,930
事務費	213,442	195,933
減価償却費	12,020	10,739
租税公課	22,213	23,769
その他	23,803	24,957
営業利益	273,038	57,765
営業外収益		
投資有価証券売却益	—	22,523
受取配当金	5,545	14,038
その他	1,067	1,044
営業外収益計	6,612	37,605
営業外費用		
和解金	200	—
その他	462	232
営業外費用計	662	232
経常利益	278,988	95,139
特別利益		
取引参加者協会清算分配金	—	13,706
投資有価証券売却益	—	4,833
特別利益計	—	18,539
特別損失		
投資有価証券評価損	907	—
特別損失計	907	—
税引前四半期純利益	278,080	113,678
法人税、住民税及び事業税	44,121	34,888
法人税等調整額	10,600	3,549
法人税等合計	54,722	38,437
四半期純利益	223,358	75,241

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

2020年3月期 第2四半期決算資料

(1) 受入手数料

① 科目別内訳

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	前年同期比(%)	前事業年度
委託手数料	299,871	261,699	87.3	587,608
(株券)	(287,988)	(249,824)	(86.7)	(558,952)
(受益証券)	(11,882)	(11,874)	(99.9)	(28,656)
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	210,594	215,882	102.5	334,755
(債券)	(40)	(8,308)	(—)	(60)
(受益証券)	(210,554)	(207,574)	(98.6)	(334,695)
その他の受入手数料	106,443	65,298	61.3	183,900
(株券)	(1,736)	(1,470)	(84.7)	(3,517)
(債券)	(6)	(7)	(127.5)	(12)
(受益証券)	(103,657)	(62,925)	(60.7)	(178,269)
(その他)	(1,043)	(894)	(85.8)	(2,100)
合計	616,909	542,880	88.0	1,106,263

(注) 募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料の債券の前年同期比は1,000%を超えるため「—」を記載しております。

② 商品別内訳

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	前年同期比(%)	前事業年度
株券	289,725	251,295	86.7	562,469
債券	46	8,315	—	72
受益証券	326,094	282,374	86.6	541,620
その他	1,043	894	85.8	2,100
合計	616,909	542,880	88.0	1,106,263

(注) 債券の前年同期比は1,000%を超えるため「—」を記載しております。

(2) トレーディング損益

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	前年同期比(%)	前事業年度
株券等	400,251	254,226	63.5	620,851
債券等	391,707	391,726	100.0	1,095,312
合計	791,959	645,953	81.6	1,716,164

(3) 自己資本規制比率

(単位：百万円)

	前第2四半期末	当第2四半期末	前事業年度末
固定化されていない自己資本の額 (A)	6,451	6,411	6,386
リスク相当額 (B)	772	1,127	770
市場リスク相当額	115	368	115
取引先リスク相当額	66	170	59
基礎的リスク相当額	590	588	596
自己資本規制比率 (A) / (B) × 100 %	835.4	568.5	828.7

四半期損益計算書の推移表

損益計算書の四半期推移

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期 自2018. 4. 1 至2018. 6. 30	前第2四半期 自2018. 7. 1 至2018. 9. 30	前第3四半期 自2018. 10. 1 至2018. 12. 31	前第4四半期 自2019. 1. 1 至2019. 3. 31	当第1四半期 自2019. 4. 1 至2019. 6. 30	当第2四半期 自2019. 7. 1 至2019. 9. 30
営業収益	723	723	664	787	618	606
受入手数料	368	248	220	268	249	293
トレーディング損益	335	456	426	497	355	290
金融収益	18	18	16	22	13	22
金融費用	4	3	5	4	3	7
純営業収益	718	719	658	783	615	599
販売費・一般管理費	580	585	597	613	576	580
取引関係費	58	57	68	70	56	59
人件費	334	340	329	363	342	349
不動産関係費	52	49	49	45	47	44
事務費	107	105	117	104	98	97
減価償却費	5	6	6	6	5	5
租税公課	8	13	12	13	11	12
その他	12	10	13	9	14	10
営業利益	138	134	61	170	38	18
営業外収益	5	0	22	16	23	14
営業外費用	0	0	1	△0	0	△0
経常利益	144	134	82	186	61	33
特別利益	—	—	—	—	—	18
特別損失	0	—	—	10	—	—
税引前四半期純利益	143	134	82	175	61	51
法人税、住民税及び事業税	12	32	△0	46	1	33
法人税等調整額	21	△11	19	10	19	△15
四半期純利益	109	113	64	118	40	34